

字幕制作のプロが監修！ 生字幕制作がより身近に！

特許出願済

AI 生字幕制作システム

J-TAC Pro



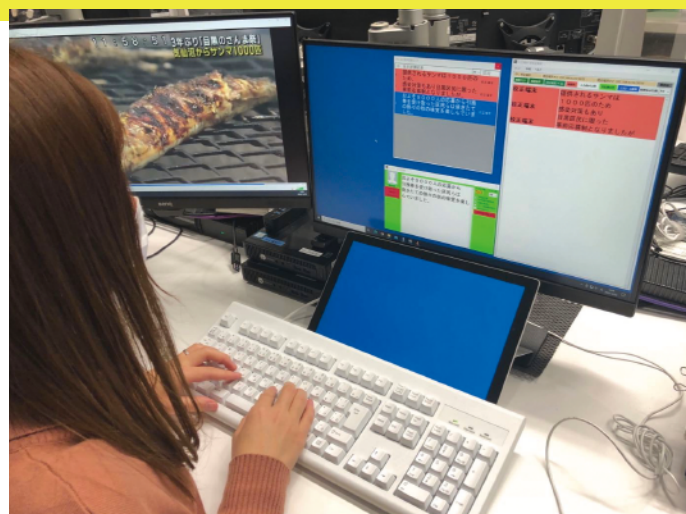
AI生字幕制作！ J-TAC Proとは



「生字幕を付与したいけれど、高速入力者の育成にはコストと時間が…」といった課題を解決するため、私たち字幕制作のプロが作り上げたのがAI生字幕制作システム『J-TAC Pro』です。開発ポイントは「1名で対応」「簡単なソフト操作」「高いタイピング技術は不要」の3点。

AI音声認識とAI自動改行等の便利機能により精度が高いテキストを自動生成、あとは誤変換箇所を校正者が修正するだけ。分かりやすいUIと一般的なキーボードの使用により、短期間での操作習熟が可能です。

徹底的に省力化を極めた生字幕制作の最強ボディ、それが『J-TAC Pro』です。



アナウンサー1人読みのニュース なら98%以上の認識率！

- ハイクオリティなAI音声認識。
- コンタクトセンター向け国内シェアNo.1の実績を誇るアドバンスト・メディア社のAmiVoice音声認識システムを採用！
- クラウド版の強み！AIが学習することで認識精度が日々向上。

無人対応も視野に 入れた「自動機能」！

- AI音声認識が放送音声から自動生成したテキストを自動送出。
- AIがテキストを自動改行することで読みやすい字幕を実現。

シンプルで 使いやすいUI

- 視認性に優れたひと目でわかるボタンデザイン。
- 直感的に扱えるソフトウェア操作。
- 必要な機材はパソコン2台だけ。

1人で校正作業ができる便利な機能と操作性

テイク送出機能を搭載

》 ニュース原稿のテキストデータを取り込んで送出可能。

リスピークも選べる

》 マイクを繋いでリスピークをすれば、校正作業がより簡易に。

表記のゆれを自動置換

》 事前に設定した表記に自動置換する機能を搭載。
【例「30℃」⇒「30度」】

テキストスキップ機能

》 不要なテキストをスキップして削除する手間を削減。

生字幕制作の最強バディ 楽々簡単、新時代のAI生字幕

プロセスマップ

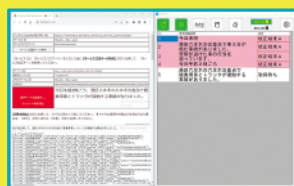
1. 放送音声を認識端末へ入力



2. 音声データをクラウドへ送り音声認識処理を行って作成したテキストを認識端末へ戻す



クラウド型音声認識エンジン
(AmiVoice Cloud Platform®)
※インターネット接続環境が必要

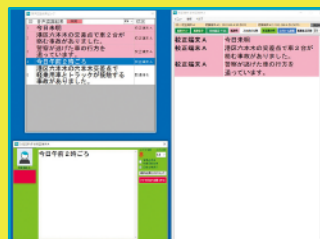


J-TAC Pro
(認識端末)

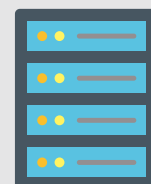
3. 音声認識結果を自動または手動で取得して校正（誤認識修正など）を行う 校正済みテキストは認識端末経由で字幕システムへ送信



J-TAC Pro
(校正端末)



4. 字幕システム経由で放送中の番組へ字幕付与



字幕システム
(送出制御サーバ インサーター)

5. 字幕付き番組として放送



導入・運用・保守まで 安心安全のサポート体制

- 保守運用費は月額固定。トラブル時のサポート作業に加え、音声認識利用料も含まれる。
- 遠隔地でのトラブルもリモート作業で迅速に対応。
- 導入後の操作習熟サポートも相談可。

総務省の助成金を利用可能

- 「生放送字幕番組普及促進助成金」の適用対象。
最大で購入費の50%を助成。(2023年11月現在)

参考：

国立研究開発法人情報通信研究機構 (NICT) ホームページ
<https://www2.nict.go.jp/barrierfree/108/>



動作環境（認識端末・校正端末）

- OS : Windows10 Pro (64bit) or Windows11 Pro (64bit)
- CPU : Intel Core i5 以上
- メモリ : 4GB 以上 (推奨 : 8GB)
- ハードディスク : 128GB 以上 (推奨 : 256GB)
- ネットワーク : 1000BASE-T (必須要件 : インターネット接続)
- ディスプレイ解像度 : 1920×1080 以上必須

J-TAC Pro 使用実績

- テレビ朝日「グッド! モーニング」
- テレビ朝日「ANNニュース 日曜 11:50 ~」

テレビ朝日クリエイトの生字幕制作実績

- 「羽鳥慎一モーニングショー」 ■ 「大下容子ワイド! スクランブル」
 - 「スーパーJチャンネル」 ■ 「報道ステーション」
- 各種スポーツほか、テレビ朝日の生字幕全般。

サポート窓口は平日10時～18時。メールでご連絡を。

j-tacpro-info@tcreate.jp



TACreate